

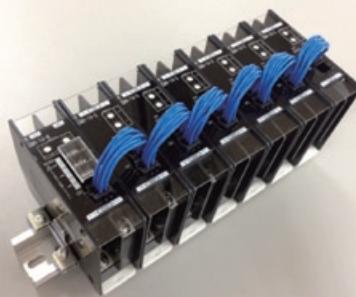


IR REPORT

第56期 報告書

平成25年2月1日 ▶ 平成26年1月31日

 不二電機工業株式会社



持続的成長と企業価値の向上を目指し、 長期経営計画「Vision100」の目標に向け 挑戦してまいります。

電力業界の設備投資が低迷する中、
前期に引き続き増収増益を達成しました。

第56期における当社を取り巻く経営環境は、アベノミクス効果により景気回復の兆しや生産活動の活発化が見受けられたものの、当社のメイン市場である電力業界は前期同様、厳しい状況が続きました。一般産業

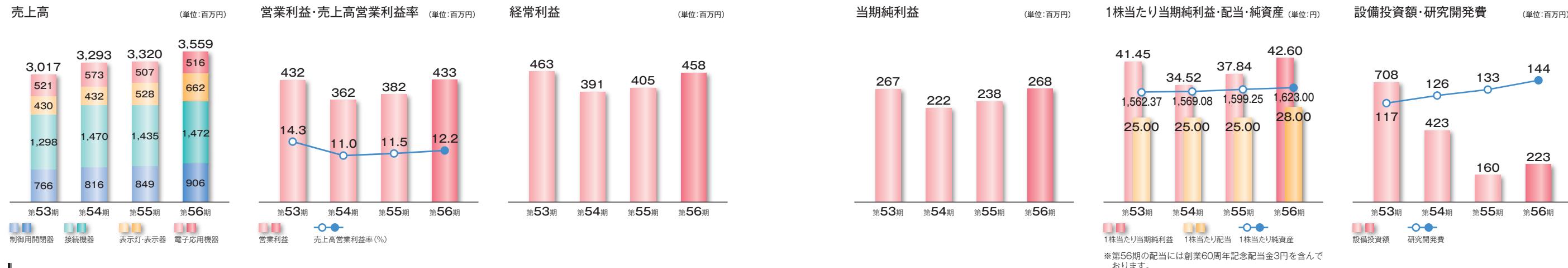
市場も国内の設備投資への動きは鈍く、本格的な市況の好転には、もう少し時間がかかると予想されます。そのような中、当社は従来より取り組んでまいりました重点戦略「①重電機器市場の深耕、②一般産業市場の開拓、③海外市場の開拓」を3本の柱とし、新製品の開発から市場投入、そして新たな市場の開拓に注力してまいりました。

その結果、当期の業績につきましては、売上高3,559百万円（前期比7.2%増）、営業利益433百万円（前期比13.5%増）、経常利益458百万円（前期比13.1%増）、当期純利益268百万円（前期比12.3%増）となり、目標達成には至りませんでした。前期に引き続き増収増益を果たすことができました。経営環境の予想以上の厳しさからすると、まずまずの結果だと評価しております。



代表取締役社長
小西 正

財務ハイライト



鉄道車両市場の開拓と太陽光発電向けの製品ラインナップの充実により、売上を伸ばしました。

当社は、当期より長期経営計画「Vision100」を開始いたしました。これは、10年後の売上高100億円を目標とし、戦略的な製品開発、市場開拓、生産体制など企業活動の全てをレベルアップさせるためのプロジェクトです。スタートとなる当期は成長の可能性を感じることができた1年であったと評価しております。

重点戦略「①重電機器市場の深耕」については、東日本大震災以降、電力業界は厳しい状況が続いており、期待していた変電設備の更新需要が伸びず、重電機器市場への売上は前期比0.6%増の1,882百万円となりました。今後は変革期にある電力業界の動向を注視しながら、引き続き更新需要の掘り起こしとともに、パワー半導体を使った半導体直流開閉器など新技術を使った製品をユーザーに提案していくことで売上の増加を図ってまいります。

重点戦略「②一般産業市場の開拓」については、まず鉄道車両で着実に成果を上げることができました。当期の鉄道車両市場への売上は前期比25.3%増の149百万円となりました。国内においては、色覚バリアフリー対応のLED扉開閉表示灯が西武鉄道に採用され、今後も鉄道

各社への広がりが期待されます。また、東武鉄道の新型車両には、連結開放スイッチや車側灯・尾灯、新型モノレールには車掌スイッチが採用されております。海外においても、前期の北米ニューヨーク地下鉄にドアスイッチ操作マスターキースイッチが搭載されたのに続き、当期はワシントン地下鉄に扉開閉表示灯が採用され、既に試験走行に入っております。アジアでは、中国の高速鉄道で当社スイッチ5機種がプロトタイプ車両に搭載され試験中であり、一部は本採用が決定されました。残りも来期には決定すると期待しております。



西武鉄道 6000系



「連結開放スイッチ」



東武鉄道 60000系



「尾灯」



色覚バリアフリー対応の「扉開閉表示灯」

次に交通分野では、昨年11月にNHKのニュースにも取り上げられましたが、東京都内の押しボタン式交通信号機に白色LEDが採用されることとなりました。この白色LEDを使用した表示器は、従来の赤色文字では色覚障がいのある方には見えにくいといった声に応え、文字表示を白色にすることで見えやすく改良した当社オリジナル製品です。これまで徳島県や高知県など一部に限られていましたが、今回東京都に採用されたことで、今後全国に広がる可能性が高いと考えております。

更に太陽光発電などの新エネルギー発電向けの新製品として、遮断端子台、高耐圧ヒューズホルダ端子台、高耐圧端子台を開発し、当期より販売を開始いたしました。特に遮断端子台は当社が培ってきたスイッチの技術を活かした独自製品であり、高電圧の活線を直接遮断できる性能が評価され、市場投入と同時に大きな反響をいただきました。また、当期は、太陽光パネルの電流、電圧をストリング（パネルの組み合わせ単位）毎に計測し、パネルの異常を即時に発見できるストリング監視ユニットを新たに開

T O P I C S 1

色覚バリアフリーに当社製品が貢献しています。

警視庁は、東京都内の歩行者用押しボタン式交通信号機の「おしてください」「おまちください」の文字表示を白色にすることを決定し、都内約4,700カ所、およそ1万2,600個の押しボタンの取替え工事を進めています。この白色LED表示器は当社が開発したオリジナル製品です。

近年、家電製品やOA機器等にLEDが多用されていますが、赤色や緑色を識別しにくい色覚障がいのある方にとって、従来の押しボタンのように黒い背景に赤色文字の表示では文字が見えにくいという問題があります。そこで、色の選び方や組み合わせ方を変えることで色の違いをわかりやすくし、より多くの人が見やすいように配慮する「色覚バリアフリー」という考え方が、公共施設を中心に広がってきています。

当社も、この押しボタン式交通信号機用表示器や鉄道車両の扉開閉表示灯など、色覚バリアフリーに配慮した表示器、表示灯の開発に力を入れています。

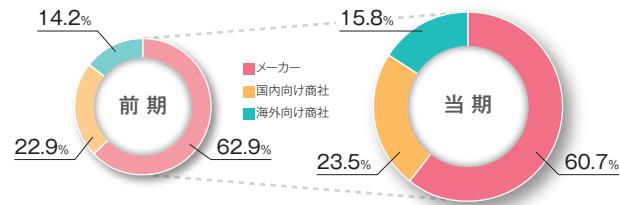


「押しボタン式交通信号機用表示器」

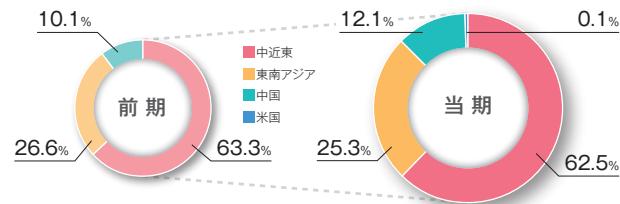
発し、製品ラインナップを充実させました。今後も太陽光パネル関連の売上増加に向けて注力してまいります。

重点戦略「③海外市場の開拓」については、当期より中近東・東南アジア・中国の3ブロックに米国を加え、営業活動を展開してまいりました。その結果、前述した海外鉄道車両への採用の他、クウェート向けに表示器の売上が大幅に伸びるなどし、当期の海外市場への売上は、前期比12.8%増の564百万円となりました。来期は引き続き中近東・東南アジア諸国の電力インフラ関連への売り込みをかけるとともに、米国で開催される交通関連展示会「APTA」への出展を計画するなど海外の鉄道車両市場への展開を強化してまいります。

販路別売上比率



輸出先別売上比率



生産ロボットの導入など生産設備の積極投資により利益率の向上を図ります。

当期の設備投資は、射出成形機を増設したほか、製造ラインの自動化を進めるため、組み立てロボットの開発を進めております。今後は切削やプレス加工の内製化も検討しており、製造ラインの効率化とコスト削減に努めてまいります。

当社は昨年創業60周年を迎えました。これを期に、株主の皆様からのご支援に対する感謝の意を表すため、1株当たり3円の記念配当を実施いたしました。今後も持続的成長の実現に向けて、全社を挙げて「Vision100」プロジェクトを進めていく決意です。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

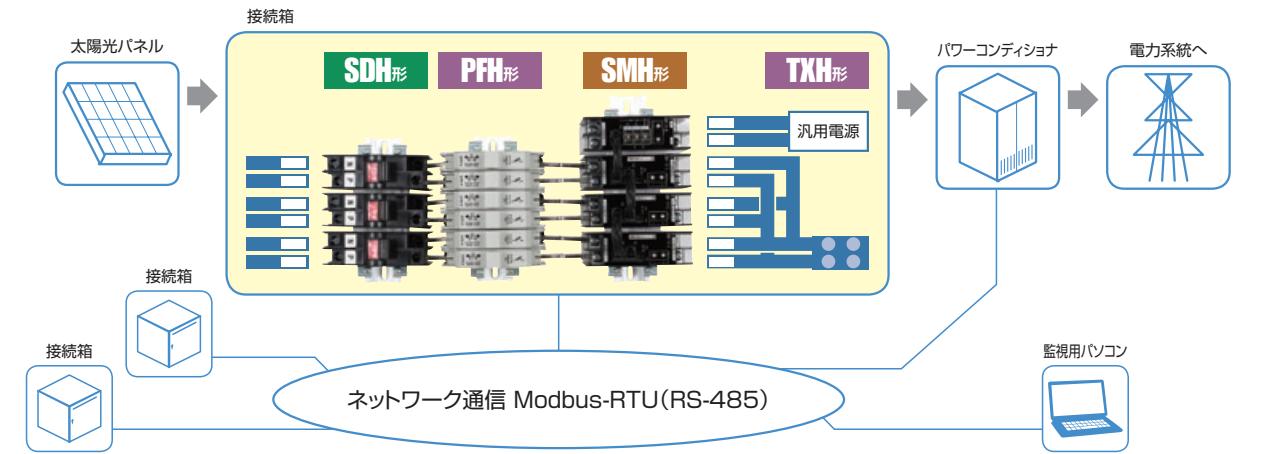


新製品紹介「高電圧1,000Vに対応した新製品ラインナップ」

T O P I C S 2

近年の太陽光発電システムは、年々大規模化の傾向にあります。これに伴い、極力電力の損失を抑えるため、高い直流電圧での制御が必要になります。当社では、太陽光発電向けに直流1,000Vに対応した新製品を開発しました。

遮断端子台	高耐圧ヒューズホルダ端子台	ストリング監視ユニット	高耐圧端子台
SDH形	PFH形	SMH形	TXH形
高電圧の回路を直接遮断でき、太陽光パネルのメンテナンス作業の効率化に貢献 定格絶縁電圧交流1,000V、直流1,500Vに対応	回路の保護に必要なヒューズの取り付け、取り外しを容易にする安全設計 定格絶縁電圧交流1,000V、直流1,500Vに対応	太陽光パネルの状態をストリング毎に監視し、パネルの故障や故障箇所を検出 定格絶縁電圧直流1,000Vに対応	充電部に触れにくい安全構造や配線カバーにより作業者の安全を確保 定格絶縁電圧交流1,000V、直流1,500Vに対応

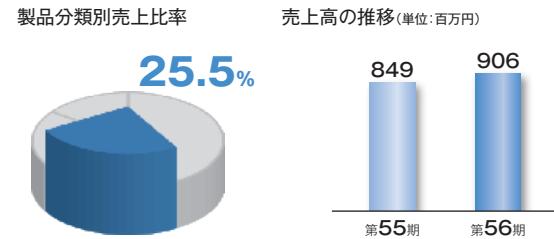


SMH形ストリング監視ユニットで計測されたデータはネットワークを通じて遠方での監視やデータ蓄積が可能となります。

制御用開閉器



太陽光発電向け遮断端子台の新規採用に加え、鉄道車両用スイッチや配電自動化子局用スイッチも好調に推移したことから、売上高は906百万円（前期比6.7%増）となりました。



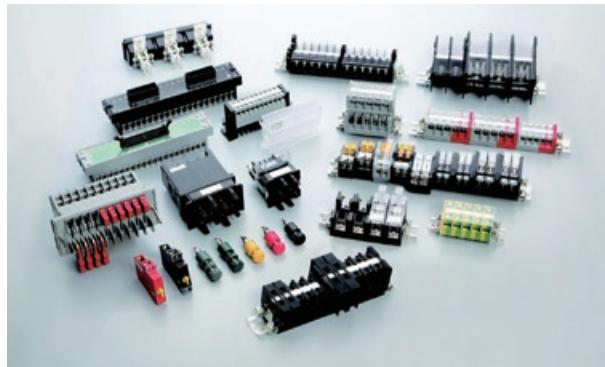
事業内容

送電・変電・配電施設の回路開閉制御に用いられる国内トップシェアのカムスイッチをはじめ、鉄道車両用の押しボタンスイッチや運転台切替スイッチ、車両連結開放スイッチなど、高度な信頼性・安全性が求められる電力・交通分野で数多く採用されています。市場の幅広いニーズにお応えするため、スイッチの小型化や接触信頼性の向上、海外規格への対応を進めています。また、新エネルギー分野向けに高電圧を直接遮断できる遮断端子台を開発し好評を得ています。

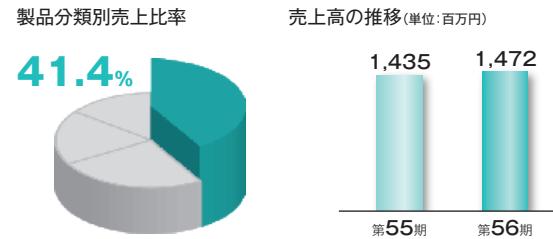
主な製品



接続機器



一般産業向け端子台は低調でしたが、太陽光発電向けの需要増により、断路端子台が急増したほか、コントロールセンタ用ジャックやサーミアブソーバ端子台も好調に推移したことから、売上高は1,472百万円(前期比2.6%増)となりました。



事業内容

電力業界向け、一般産業向けを中心に、端子台やコネクタ、試験用端子、コントロールセンタ用クリップなど、通常の接続用端子としての機能に加え、ノイズ・サージ対策やチェック機能、コネクタ変換機能、断路機能などを付加した製品を提供しています。電力会社と共同開発した配線脱落防止端子台は電力会社だけでなく高速鉄道の変電設備にも採用されるなど、幅広いユーザーに評価されています。また、直流1,500Vまでの電圧に対応できる高耐圧端子台などを開発し、新エネルギー分野や海外向けに販売を強化しています。

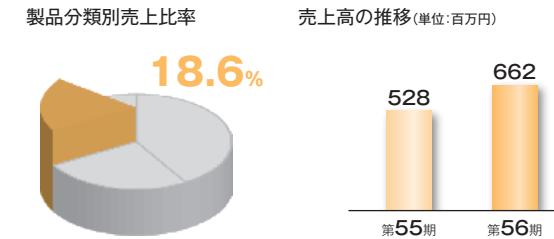
主な製品



表示灯・表示器



海外の変電設備向け落下式故障表示器が倍増したほか、電磁式表示器も好調に推移したことから、売上高は662百万円（前期比25.5%増）となりました。



事業内容

高輝度・長寿命・省電力なLED式表示灯、落下式表示器や電磁式表示器などオリジナルな表示方式の表示器を提供しています。電力分野では、国内及び海外の変電・配電設備向けに落下式故障表示器や電磁式表示器、交通分野では、鉄道車両用の標識灯・側灯シリーズや扉開閉表示灯、交通道路信号に押しボタン式交通信号機用表示器、また一般産業や公共設備向けにLED式集合表示灯などが採用されています。最近では色覚バリアフリーを意識した表示灯づくりにも注力しています。

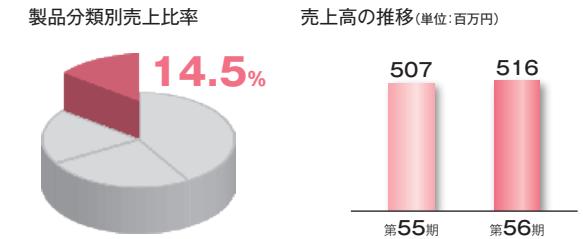
主な製品



電子応用機器



高速鉄道変電設備向けリレーユニットや保護リレー用ハイブリッドモジュールは減少しましたが、配電自動化子局設定パネルやテレフォンリレーが堅調であったことから、売上高は516百万円(前期比1.9%増)となりました。



事業内容

従来の電気制御機器に電子部品や新たなテクノロジーを複合させたのが電子応用機器です。Di/Doモジュールを内蔵したインターフェイスユニットやアナンシェータリレー、プラグインリレー、テレフォンリレー、I/Oターミナルが重電機器分野や高速鉄道の変電設備分野で広く採用されています。また、パワー半導体を使った半導体直流開閉器や、太陽光発電向けのストリング監視ユニットなど新技術を用いた製品開発を進めています。

主な製品



貸借対照表

科目	当期 (平成26年1月31日現在)	前期 (平成25年1月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,183,519	6,651,098
固定資産	3,724,638	3,994,596
有形固定資産	2,651,743	2,667,902
無形固定資産	17,723	20,202
投資その他の資産	1,055,172	1,306,490
資産合計	10,908,158	10,645,694

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

科目	当期 (平成25年2月1日から 平成26年1月31日まで)	前期 (平成24年2月1日から 平成25年1月31日まで)
売上高	3,559,451	3,320,076
売上原価	2,257,774	2,151,008
売上総利益	1,301,676	1,169,067
販売費及び一般管理費	867,690	786,610
営業利益	433,986	382,457
営業外収益	27,104	26,004
営業外費用	2,660	2,999
経常利益	458,430	405,462
特別損失	30,020	16
税引前当期純利益	428,409	405,446
法人税等	160,096	166,495
当期純利益	268,313	238,950

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	当期 (平成26年1月31日現在)	前期 (平成25年1月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	601,541	517,641
固定負債	80,359	53,931
負債合計	681,901	571,573
(純資産の部)		
株主資本	10,123,848	10,012,988
評価・換算差額等	98,031	59,296
新株予約権	4,376	1,836
純資産合計	10,226,256	10,074,121
負債及び純資産合計	10,908,158	10,645,694

キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (平成25年2月1日から 平成26年1月31日まで)	前期 (平成24年2月1日から 平成25年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	526,426	576,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,755	△181,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,615	△304,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	78,055	90,614
現金及び現金同等物の期首残高	568,170	477,555
現金及び現金同等物の期末残高	646,225	568,170

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

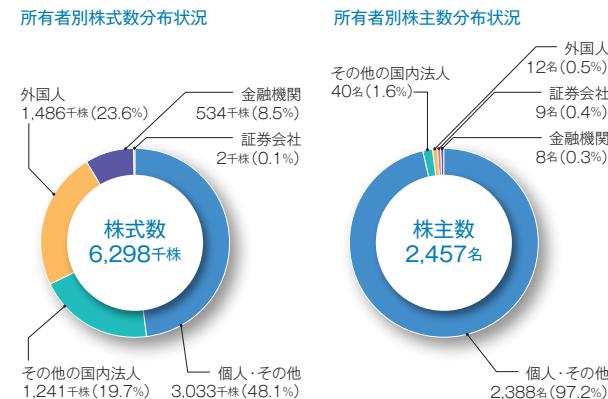
株式の状況

発行可能株式総数	26,676,000株
発行済株式の総数	6,669,000株
	(うち自己株式 370,855株)
当事業年度末の株主数	2,458名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
藤本豊士	789(千株)	12.53(%)
藤本順子	789	12.53
公益財団法人藤本奨学会	650	10.32
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	633	10.05
ゴールドマンサックスインターナショナル	543	8.62
有限会社藤本興産	460	7.30
エスアイエックス エスアイエス エルティディー	263	4.18
株式会社京都銀行	132	2.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	121	1.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	95	1.51

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は当事業年度末において自己株式370千株を保有しておりますが、上記「大株主(上位10名)」からは除外しております。

所有者別分布状況(自己株式除く)



会社の概要

社名	不二電機工業株式会社
本社所在地	京都市中京区御池通富小路西入る東八幡町585番地
創業	昭和28年2月
設立	昭和33年5月
資本金	10億8,725万円
従業員	304名
URL	http://www.fujidk.co.jp/

事業所

本社	京都市中京区御池通富小路西入る東八幡町585番地
東京営業所	東京都港区芝公園一丁目1番12号 芝公園電気ビル
草津製作所(技術営業部)	滋賀県草津市野村三丁目4-1
みなみ草津工場	滋賀県草津市野路東二丁目5番5号
新旭工場	滋賀県高島市新旭町太田字西川原905-1

役員の状況

代表取締役社長	小西正
常務取締役	福永孝一
取締役	志萱章宏
取締役	川瀬辰男
常勤監査役	北野洋
監査役	木村安寿
監査役	川村俊明

(注) 1. 取締役川瀬辰男氏は、社外取締役であります。
2. 監査役木村安寿氏及び川村俊明氏は、社外監査役であります。
3. 取締役川瀬辰男氏、監査役木村安寿氏及び川村俊明氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

株主優待制度の新設に関するお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に
お応えするとともに、当社株式への
投資魅力を高めていくため、
株主優待制度を
導入いたしました。



—株主優待制度開始時期—

平成26年1月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象に開始いたします。

—優待内容—

以下の区分により、クオカードを年1回贈呈する予定です。

継続保有期間	3年未満	3年以上
所有株式数		
100株以上500株未満	クオカード 500円分	クオカード1,000円分
500株以上	クオカード1,000円分	クオカード2,000円分

(注)継続保有期間3年以上の確認にあたっては、毎年1月31日の株主名簿に同一の株主番号で連続して4回以上記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。

株主メモ

事業年度 毎年2月1日から翌年1月31日まで

定時株主総会開催時期 毎年4月下旬

基準日

定時株主総会 毎年1月31日

剰余金配当 毎年1月31日

なお、中間配当を行う場合の基準日は、毎年7月31日

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。
但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載ウェブサイト

http://www.fujidk.co.jp/ir/05_koukoku/index.html

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座で保管されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6654

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝
(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com

不二電機工業株式会社

ホームページアドレス <http://www.fujidk.co.jp/> 電子商取引アドレス <http://edi.fujidk.co.jp/>